

令和 8 年度都立永山高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	・「書くこと」の指導の充実 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実	・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・校内ビブリオバトルの開催 ・「話し合うこと」の指導に関する言語活動に関する科内研修の実施	・学校説明会に向けたプレゼンテーションの実施 ・大学等主催の小論文コンテストへの応募 ・オンライン活用時の「話し合うこと」についての指導方法の開発
地理・歴史 公民	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立つ。	・課題解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明する。	・地理や歴史、公共的な空間に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、効果的に説明する。
数学	・数学的な見方 ・考え方を働かせた数学的活動	・事象を数学的に捉え、数学の問題を見いだせる教材の開発 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施	・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施
理科	他者と関わりながら主体的に課題に取り組む生徒の育成	・実験・観察の考察段階において、事象の再現性や規則性について、生徒自身が見いだす活動を通して、論理的な思考力の伸長を図る。 ・グループ活動を授業の中心に据えた課題解決型学習を積極的に取り入れる。	・探究活動を取り入れ、生徒自身が課題をみつけ、解決していくための能力の伸長を目指す。 ・受験指導の充実を図り、大学や専門学校の入試対策を実施し、生徒の進路実現を支援する。
保健体育	「生涯スポーツ」に繋がる学習活動の充実	・「する・みる・支える・知る」等のスポーツとの関わり方を学び、生涯を通じて、自己の適正に応じてスポーツとの関わり方を知る。	・3年体育では、自ら種目を選択し、生徒が授業案を作成し、授業を実施する種目選択制授業を実施する。
英語	「話すこと」の指導の充実	・各科目、学期に2回パフォーマンステストを実施 ・CAN-DOリストを見直す。 ・英語コミュニケーションの授業で帯活動として「話すこと」についての活動を実施	・オンライン英会話の取組を評価するためのルーブリックの開発・活用 ・TGG後に体験に基づくスピーチコンテストの実施
芸術	「他者に伝える／伝える」ことに対する意識化と言語化の充実	・各科目とも、ただ自分で課題をこなすことに終始せず。客観的な視点をもって、様々な現象を言語化し、他人とコミュニケーションがとれるようにする。	・見たり聴いたり自分で演奏したりした行動について「複数の観点から」「言語で説明する」ことを試みる。 ・ICTの利点を利用し、様々な情報にアクセスして「比較・検討」する力を身に着ける。
家庭科	生活の中から課題を見いだして解決する力を身につける	考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する	自分や家庭生活に加えて、地域の充実向上を図るために実践する。
情報	情報に関するリテラシーを身につける	・情報に関するモラルを身につけ、コミュニケーション能力を高める。	・文書の書き方、計算、プログラム、プレゼンテーションなどの基礎的な技術を身につける。